

# ACANTHUS



## 特集

## 韓国・水原大学との合同演奏会

## Index

学長挨拶 ..... 2

**【特集】韓国・水原大学との合同演奏会** ..... 3

糖尿病看護認定看護師教育課程の開講 ..... 4

研究をとおして培ったこと：あきらめない精神力・異分野との交流・そして人とのつながり ..... 5

地域貢献活動 ..... 6

Close-up campus クローズアップキャンパス .....10

大学祭 .....11

先輩からの手紙 .....12

Club & Circle クラブ・サークル .....14

**【連載】研究室への誘い 理工学部電子情報工学科** .....16

徳島文理大学・短期大学部 特待生試験 .....18







# 読解力・思考力 ~ 意味を理解する力

## 国際交流

### 韓国・水原大学との合同演奏会を終えて

音楽学部 教授 板東久美

2016（平成28）年10月16日（日）にむらさきホールで韓国・水原大学との合同演奏会を行いました。2015（平成27）年9月には、徳島文理大学ウインドオーケストラのメンバーが韓国を訪れ、水原大学構内のホールで一緒に演奏させていただきました。大変心こもった温かい歓迎を受け、また、ソウル市内も案内していただき、忘れ難い思い出となりました。

仁川空港から車で約50分の場所にある水原大学は学生総数約2万人という総合大学で、中にはキャビンアテンダントコースや、ホテルのコンシェルジュコースなどもありました。広大な敷地に音楽学部があり、その中の国楽専攻の学生が美しい民族衣装に身を包み演奏してくれた民族楽器の音色が印象的でした。

今回は、李総長先生をはじめとする皆さまに本学へお越しいただきました。演奏会前日の夕方に本学に到着した一行は、すぐにリハーサルを始めました。前もって割り振っていたパートと席順を確認し、水原大学の指揮者ウナイ・ウレチョ

先生指導のもと、両校合同のサウンドがホールに響きました。むらさきホールのすばらしさに驚きつつ、この響きに慣れない様子のメンバーも、リハーサルを重ねるほど、心地よく演奏を披露してくれました。細かい演奏の違いを修正しながら、混ざりあっていくサウンドを聴き、音楽の素晴らしさをあらためて感じました。

2015（平成27）年に一緒に演奏をしたとはいえ、ほぼ初対面にもかかわらず、ともに演奏して音楽を作ることができる…言葉をもたないからこそ「音楽」の力を痛感しました。

水原大学メンバーの大陸的なパワフル・サウンドと、楽譜に忠実に緻密に演奏する本学のサウンド。2つの個性がぶつかり、交わり、1つになっていく様は聴き応えがありました。

演奏会当日は徳島文理大学山城祭の最終日と重なり、約1,100人が足を運んでくださいました。前半は徳島文理大学ウインドオーケストラのメンバーのみで日

本らしいプログラムを演奏し、後半は日韓合同による演奏を行いました。

日本人作曲のオネイロス、ミュージカルナンバーからライオンキング、アンコールのエルクンバンチェロまで、今まで感じたことのないような熱量の大きな演奏が続きました。特に、韓国民謡の「アリラン」と「赤とんぼ」の2つのメロディーが交差して流れた時には、さまざまな想いが込み上げてきました。

コンサート終了後の交流会では全員による阿波踊りも行われ、大いに盛り上がりました。今でもメンバー同士でSNSなどを通じ、国境も言葉も越えての交流が続いています。練習はもちろん、準備段階から、事務作業・広報など、見えないところで皆さんの皆さまにお世話になったことを感謝しつつ、2年続けてこのような交流演奏ができたことを大変喜ばせています。

これからも両国の学生たちが末永く仲良く、笑顔で一緒に演奏できることを心から願っています。



山城祭での徳島文理大学ウインドオーケストラのメンバー・水原大学の皆さんによる演奏会の様子



学長 桐野 豊

を読みながら重要と思った部分を紙片に書き留めていく」ことが重要と述べているという（津野梅太郎著『読書と日本人』）。このような1000年以上の歴史をもつ読書法は、今後も知識の獲得手段としてすたれることはないと思われる。

ところで、人工知能（AI）の発達により、将来人間の仕事がAIに奪われるのではないかという声がある。国立情報学研究所の新井紀子教授（数学者）によると、同研究所で開発した「東口ボくん」と名づけられたAIが今年のセンター試験模試（40万人の高校3年生が受験）で、上位2割に入る成績を得たが、AIは文章の意味を理解することを最も苦手としていて、文脈を理解すること（すなわち読解力）は人間に勝つことはできないという。

これは、二重の意味で寒心せざるを得ない結果である。一つ目は、模試には読解力がなくても解答できるような問題が多かったということである。この点に気づいた文部科学省は、センター試験を改革して、思考力を重視したものに換えようとしている。二つ目

は、多くの高校生の読解力がAIよりも低かったということである。実際に新井教授が最近実施した読解力を問うテストでは、「教科書を読んで理解する」ことができない中高生が相当数いると推察されるものであった。

本学の建学精神「自立協同」である「自立」は、自分で知識を獲得できる力なしには達成できない。社会人になって、ビジネス文書をやり取りしたり、作業仕様書を読んだりすることができなければ、困難にぶつかることは明白である。さらに、「協同」で大切な「コミュニケーション力」も相手の気持ちに共感する力の涵養といったことに目が向くが、その前提として、相手の言っていることを正しく理解する力が必要である。

相手の気持ちに共感したり、意味を理解したりすることはAIにはできそうもない。したがって、意味を理解する力をしっかりもった人間は、AIによって仕事を奪われることはないと言えよう。穏やかな新春を迎え、たまには自分の部屋でひとり黙って本を読みふけるのもいいかもしれない。

「本はひとりで黙って読む。自発的に、たいていはじぶんの部屋で」。このような読書のスタイルは平安時代にできあがったらしい。11世紀半ば、菅原孝標の女による『更級日記』には、ようやく手に入れた紫式部の『源氏物語』を自分の部屋（当時は間仕切りで仕切られた空間だった）で夢中になって読んでいた様子が書かれている。また、菅原道真は、学問をするには、「本





飯泉徳島県知事と徳島県看護協会の皆さま、本学関係者



教育体制整備のための財政支援要望書を提出する  
村崎理事長と徳島県看護協会の森山会長

地域  
貢献

## 糖尿病看護認定看護師教育課程の開講について

保健福祉学部看護学学科長 徳島文理大学地域連携センター（兼務） 大岡裕子

2017（平成29）年5月、徳島文理大学地域連携センターに糖尿病看護認定看護師教育課程が開講されます。開講までに至った背景については、2013（平成25）年10月15日（火）の徳島新聞に「認定看護師全国最少、県内に教育機関の設置がされていないことが影響している」と大きく報道されたことです。報道後、養成機関設置実現のため、徳島県・県内の主な医療機関・看護師養成施設・徳島県看護協会の代表者が検討を重ねてまいりました。

認定看護師は専門性の高い看護の実践を可能とし、地域住民に対する質の高いサービスの提供において、看護職をはじめ医療機関からも要望が高く、最新の

チーム医療下においても、その活動が期待され、評価されています。

日本看護協会の認定看護師制度とは、看護師として5年以上の実践経験をもち、日本看護協会が認定した教育機関で615時間以上の認定看護師教育を修め、認定看護師認定審査に合格することで取得できる資格であり、看護職としてキャリアアップするための有用な制度です。認定看護分野は糖尿病看護を含め21分野が特定されています。認定看護師の活動は、患者・家族によりよい看護を提供できるよう、認定看護分野ごとの専門性を発揮しながら認定看護師の3つの役割「実践・指導・相談」を果たすことにより看護の質の向上に努

めています。施設によっては認定看護師による看護専門外来も開設されています。

徳島文理大学地域連携センターに本課程を開講することについては、その役割が本学の人的資源および教育・研究成果を広く地域に還元し、地域の課題の解決に取り組むことによる地域貢献を図ることとされています。糖尿病看護の認定看護師が育成されることによって、徳島県における地域住民の糖尿病の重症化、予防等に対する多大な貢献が期待されます。

今回の開講実現については、徳島県・徳島県看護協会と本学の連携協定を締結したことによる大きな成果であると考えます。

薬学部

## 研究をとおして培ったこと：あきらめない精神力・異分野との交流・そして人とのつながり —10年かかった研究の結実：「亜鉛は腸管の維持に重要である」—

薬学部（病態分子薬理学研究室）教授 深田俊幸

亜鉛の健康と病気における役割の研究を始めたのが2003（平成15）年です。早いもので13年が過ぎようとしています。私の研究は細胞やマウスを用いた実験が多いので、それぞれのプロジェクトが完成するにはそれなりの時間がかかりますが、今回の研究は着想を含めると実に10年以上が経過しました。このような研究を行っていつも思うのは、大きな目標を掲げた場合、「達成するまで、それはいつも不可能に思える」ということです。私は亜鉛の研究から「不撓不屈＝絶対にあきらめない」という言葉を授かりました。そして、異分野の研究者との交流の大切さと、彼らとのつながりのありがたさをあらためて感じています。今回は、亜鉛がなぜ腸に大事なのか、その一端を解明しました<sup>[1]</sup>。以下にその内容をご説明します。

亜鉛は生命の維持に必要な必須微量元素の一つです。亜鉛は、細胞内の亜鉛濃度を精密に制御する亜鉛の輸送体（亜鉛トランスポーター）によって保たれています。亜鉛の生体内の量が低下すると、味覚の異常・傷の治りの遅れ・免疫力の低下などをはじめとするあらゆる生体機能

の異常をもたらし、さまざまな病気と関連しています。腸管などの消化器もそのような組織の一つであり、以前から亜鉛の不足が消化管の炎症などに関わることが知られていました。しかし、亜鉛がどのように腸管を形作る細胞（腸管上皮細胞）と関わっているのか、その仕組みは不明でした。そこで、私たちは役割が不明であった亜鉛トランスポーター ZIP7 に注目し、腸管上皮細胞の機能におけるその役割の解明に取り組みました。

さまざまな実験を行った結果、ZIP7は腸管上皮細胞で小胞体ストレス<sup>[2]</sup>の制御に重要であり、ZIP7が機能しないと小胞体ストレスが異常に高まって細胞死が誘導され、腸管構造が崩れてしまうことが明らかになりました（図）。つまり、ZIP7による亜鉛の調節機構が腸管の形作りとその維持に必須であることが判明しました。今後のさらなる研究によって、ZIP7が有効な治療ターゲットとなることが期待されます。

今回の研究で得たものは数えきれません。もちろん、わずかながら人類の知恵の付加に貢献しているとは思いますが、それにも増して、「不撓不屈＝絶対にあ

きらめない」という心構えと、「研究は決して一人ではできない」という謙虚な姿勢、そして「異分野の研究者との交流」の大切さを再認識し、本当にたくさんの方々の協力を得ることで成し遂げられたことを実感しております<sup>[3]</sup>。本学に赴任してまだ2年目であり、誕生して間もない新しい研究室を主宰しておりますが、今後も創業を意識しながら亜鉛の重要性を追求し、それらの研究をとおして、本学の薬学部学生に医療人としての「不撓不屈・探究心・使命感」の大切さを教育していきたいと思っております。

[1] 発表論文  
論文タイトル：Zinc transporter SLC39A7/ZIP7 promotes intestinal epithelial self-renewal by resolving ER stress  
掲載雑誌：PLoS Genetics 2016, 12(10) : e1006349

[2] 小胞体ストレス  
細胞内小器官の小胞体が活動することによって小胞体にかかる負荷（ストレス）を指す。小胞体ストレスが過剰に蓄積すると細胞死が誘導される。

[3] 本研究は、慶應義塾大学、富山大学、昭和大学、理化学研究所などと共同で行いました。

研究内容の詳細は、本学薬学部ホームページのプレスリリースをご覧ください。  
<http://p.bunri-u.ac.jp/image/pdf/pr20161014.pdf>

### 徳島文理大学地域連携センター 糖尿病看護認定看護師教育課程（教育内容）

- 教育期間  
2017（平成29）年5月～10月（11月初旬）  
・講義日は原則として月曜日から金曜日の昼間（9：10～18：00）に開講する。講師などの都合により休祭日に集中講義を行うことがある。
- 募集人員  
15人
- 教育目的  
・糖尿病を抱え生活をする患者とその家族や重要他者のQOL向上に向けて、悪化を防ぎ、病期に応じた健康な生活が継続でき、発症予防においても貢献できる水準の高い看護を実践する能力を育成する。  
・糖尿病看護分野において、看護実践をとおして他の看護職者に対して指導・相談ができる能力を育成する。
- カリキュラム  
◇共通科目……………小計 150時間  
1. 看護管理（必修） 15時間  
2. リーダーシップ（必修） 15時間  
3. 情報管理（必修） 15時間  
4. 看護倫理（必修） 15時間  
5. 指導（必修） 15時間  
6. 相談（必修） 15時間  
7. 文献検索・文献講読（必修） 15時間  
8. 臨床薬理学（必修） 15時間  
9. 医療安全管理（必修） 15時間  
10. 対人関係（必修） 15時間

- ◇専門基礎科目……………小計 120時間  
1. 糖尿病ケア概論（必修） 15時間  
2. 疾病および治療方法の理解（必修） 45時間  
3. 患者および家族・重要他者などの対象理解（必修） 30時間  
4. 援助方法（必修） 30時間
- ◇専門科目……………小計 105時間  
1. ライフステージに応じた生活調整・療養支援（必修） 15時間  
2. 治療法と生活調整・療養支援（必修） 45時間  
3. 合併症の病期に応じた生活調整・療養支援（必修） 45時間
- ◇演習……………小計 135時間  
学内演習（必修） 135時間
- ◇実習……………小計 150時間  
〈臨床実習〉  
1日8時間 4週間（20日間）（必修） 150時間
- ◇修了  
本学所定の糖尿病看護認定看護師教育課程の修了を認められた者には、修了証書および学校教育法第105条の規定に基づき履修証明書を授与される。

総計 660時間

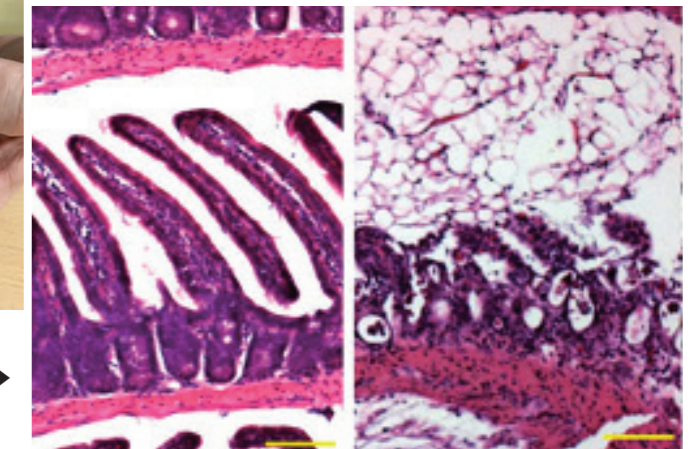
- 期待される能力  
・糖尿病患者の病態生理や臨床薬理を習得し、疾病管理とケアができる。  
・各病期において心理的、社会的および身体的側面から包括的に患者を理解・アセスメントし、生涯を見据えて目標を設定し、問題解決のための援助ができる。  
・病態・症状に応じた症状マネジメントや療養支援を実践できる。  
・糖尿病患者および家族や重要他者あるいは集団に対して、発症予防や病状に応じて必要な指導・教育の計画・実施・評価ができる。  
・糖尿病患者・家族の権利を擁護し、自己決定を尊重した看護を実践できる。  
・より質の高い医療を推進するため、他職種と共働し、チームの一員として役割を果たすことができる。  
・糖尿病看護の実践をとおして役割モデルを示し、リーダーシップを発揮し、看護職者への指導・相談を行うことができる。

○募集要項 募集要項は電話またはFAXでご請求ください。ご希望の住所に郵送させていただきます。  
資料請求方法 お電話で……088-602-8030 〒770-8514 徳島県徳島市山城町西浜傍示180 徳島文理大学保健福祉学部事務局  
FAXで……088-602-8783 連絡先 TEL：088-602-8030 FAX：088-602-8783



◀ 研究開始時に願をかけた藤枝だるま。教室の「不撓不屈」の書を背景に。

正常なマウス 腸管上皮 Zip7 欠損マウス



腸管上皮細胞で ZIP7 を欠損させる（右）と ▶ 腸管構造が崩壊する（[1]の論文より改変）。



地域  
貢献

## 人形浄瑠璃座「赤松座」 復活プロジェクト

2016（平成28）年10月10日（月）美波町赤松地区において、約100年前まで活動していた人形浄瑠璃座「赤松座」の復活に向けた公演が行われました。

復活に向けた第一歩として徳島文理大学人形浄瑠璃部の学生6人が赤松神社境内で開かれた秋祭りに参加し、祝いの席などで上演される「寿二人三番叟」を披露しました。また、神社の社殿では、人形浄瑠璃部の指導をしていただいた三好市出身の人形遣い「勘緑」さんによる人形の舞が奉納されました。

この復活プロジェクトを記録に残すため、メディアデザイン学科から4年のゼミ生8人が撮影に同行しました。当日は、音楽学部の演奏もあり、地区の人たちと一緒に楽しい一日を過ごすことができました。前日の昼には、ちょうさ（太鼓屋台）が勇壮に大浜海岸へ練る県内随一の秋祭り「日和佐八幡神社秋まつり」が行われ、夜は赤松吹筒煙火保存会による手作り花火「吹筒煙火」の奉納が行われました。



人形浄瑠璃を披露する徳島文理大学人形浄瑠璃部の学生



撮影の打ち合わせをするメディアデザイン学科の学生たち

短期  
大学部

## 生活科学科食物専攻2年生のシカ肉レシピ開発の取り組みについて

本学では、2015（平成27）年度より、徳島県でも問題となっている野生鳥獣肉の有効活用をめざし、シカ肉料理の開発に取り組んでいます。2015（平成27）年度は野生のシカ肉を柔らかく仕上げる方法等を研究し、人間生活学部食物栄養学科 近藤研究室の学生が考案したシカ肉メニューを学生食堂で販売しました。2年目となる今年は、1年目に培った経験をもとに短期大学部生活科学科食物専攻2年生が新たなレシピ開発に取り組んでいます。

2016（平成28）年7月には那賀町にある四季美谷温泉を訪問し、中田料理長からシカ肉のスジ取り方法や学生が考案したシカ肉レシピについてご指導いただきました。10月には徳島

森林管理署の方々から食害の被害状況について説明いただき、実際に現場の視察に伺いました。また本学にシカ肉を提供していただいている木沢シカ肉加工施設も訪問し、実際にシカ肉の解体等を体験しました。11月には学生食堂「パウゼ」にて「シカ肉のみぞれ煮」と「シカ肉のチンジャオロース」のセットメニューを100食限定で販売し、多くの皆さまにご好評をいただきました。

2017（平成29）年1月には「シカ肉丼」と「シカ肉のミートボール」のセットメニューを販売します。こちらも100食限定となっておりますので、この機会にぜひシカ肉メニューをお楽しみください。



木沢シカ肉加工施設での集合写真



四季美谷温泉でのシカ肉のスジ取り実習



「シカ肉のみぞれ煮」と「シカ肉のチンジャオロース」のセット

文学部

## GIS（地理情報システム）を活用した木頭ゆず栽培地の電子地図の製作

—文学部文化財学科（香川キャンパス）の学生が那賀町木頭南宇地区を訪問して現地調査—

地理学・環境歴史学を学ぶ文化財学科の2・3年生11人と教員2人が徳島県那賀町木頭南宇地区を訪問し、実地調査を行いました。

現地では、2～3人1組の5チームを編成し、GISマップの調査図をもとに、水田からゆずへの転作・栽培の現状を、耕地1枚ごとに確認調査を行いました。また、生産者の方々への聞き取り調査、さらに収穫や加工方法の指導を受けて地域の実情を深く体感できたフィールドワークとなりました。

これは徳島県の「県南地域づくりキャンパス事業」の一環で文化財演習の学外授業として実施したもので、2016（平成28）年度内に電子地図を完成させて現地

報告会で公開、さらに県や町に提供して、産地振興と活性化に活用していただく計画です。

この取り組みは、2016（平成28）年11月19日（土）の徳島新聞に掲載されました。



ゆず畑の位置を確認し地図に書き込む学生と古田教授



地区代表の方々と調査マップを検討

高大  
連携

## 教員をめざす学生と海部高校生等と一緒に地震・津波から命を守り、地域の文化財等を活用した地域活性化の取り組み

—アクティブ・ラーニングの視点を踏まえて—（徳島キャンパス）

2015（平成27）・2016（平成28）年度と教育課程総論等講義のシラバスに位置づけ、前期・後期各1回終日かけ徳島県海部郡美波町・海陽町（旧海南町・旧穴喰町）へ出向き、履修学生・海部高校生・海陽町教育委員会等と一緒に地震・津波から命を守り、地域の文化財等に新たな付加価値をつけ、地域の活性化につなげるアクティブ・ラーニングの視点を踏まえ実施した高大連携学外合同学習の一端について紹介します。

### 2015（平成27）・2016（平成28）年度の取り組み

海陽町の全国に誇れる「海部刀」（県・町指定文化財）、「大里古墳群」（県指定第1号）、海部高校の津波防災教育、日本最古の津波碑「康暦碑」、津波避難山への避難体験、古文書「震潮記」を現代語訳した旧穴喰町の歴史家 田井晴代氏による「愛宕山」での現地学習、昭和南海地震から70年を迎え、甚大な被害を受けた浅川の地震・津波碑から学ぶ取り組みをブレンストリーミング・KJ法等を活用しながら、本学学生・海部高校生・小学生・海陽町教育委員会・地域のボランティアの方々等と一緒に現地学習を行いました。事前学習として「釜石の奇跡」（釜石小学校）、「大川小学校」等の資料・映像等を活用しながら、教師としての判断・危機管理・正常性バイアス等さまざまな視点で一人ひとりが自らの課題として捉え積極的に学習に取り組みました。事後学習として、班別レポート、個別レポート・学習指導案（一人ひとり）の作成、模擬授業の実施・評価とつなげました。その後、学生代表が海陽町主催の地震・防災シンポジウムにパネラーとして参加し、海陽町の地域の課題解決や地域の活性化に向けた提言等の意見交換を行いました。

【実施日】 2015（平成27）年度：前期／6月27日（土） 後期／11月8日（日）  
2016（平成28）年度：前期／6月11日（土） 後期／12月17日（土）

【参加者】 2015（平成27）年度：徳島文理大学生（教育原理・教職概論・教育課程総論履修生）（前期40人、後期34人）、海部高校生（前期13人・後期15人）、海陽町教育委員会・海部高校教員、地域ボランティア等  
2016（平成28）年度：徳島文理大学生（教育課程総論履修生）（前期31人、後期28人）、海部高校生（17人）、小学生（30人）、海陽町教育委員会、海部高校教員、地域ボランティア等



過去400年間に20m級の津波が複数回きた愛宕山避難場所（旧穴喰町）にて



県指定第1号の大里古墳群



「震潮記」を活用して田井晴代氏から学ぶ



地域  
連携

## 「徳島県サッカー向上プロジェクト」開催

女子サッカー部 顧問 金子憲一

2016(平成28)年11月25日(金)、26日(土)に徳島文理大学地域連携事業として「徳島県サッカー向上プロジェクト」を開催しました。

まず、11月25日(金)はキックオフ講演として、ゲストスピーカーにサッカーゲームアナリストの庄司 悟氏を迎え、リオ五輪における日本代表チームのゲーム分析、さらには世界の傾向と現在の日本サッカーの方向性について講演していただきました。

11月26日(土)、第1部では理学療法士の流 一貴氏による「中高生で大切な障害予防-自分でできる補強トレーニング」を

テーマに、足関節を中心に捻挫を起こしやすい原因や、捻挫をした場合の現場でのチェックポイント・予想される機能、能力障害などについて詳しく解説していただきました。

第2部では、徳島ヴォルティスアカデミーフィジカルコーチの青柳雅人氏による「育成年代に必要な身体づくりトレーニング実践例の紹介」をテーマに講演および実技指導をしていただきました。

本学では、今後もサッカーに携わる各分野のエキスパートをお招きし、指導現場にいかせる最新情報を発信していきます。



庄司氏による講演



流氏による補強トレーニング



青柳氏による実技指導

地域  
貢献

## 鳥取県中部地震義援金募金活動を実施

徳島キャンパス鳥取県人会の学生の皆さんから、昨年の鳥取県中部地震により大きな被害を受けた方々への義援金活動を行いたいとの積極的な申し出がありました。それを受け、鳥取県人会・有志の皆さん・教職員を中心に、学内では2016(平成28)年11月10日(木)から18日(金)、街頭ではJR徳島駅前11月19日(土)、義援金募金活動を行い、多くの方々からご協力をいただきました。

11月22日(火)、鳥取県人会代表者を中心に4人の学生(食物栄養学科4年 幾田琴子、食物栄養学科3年 久保美早妃、心理学科3年 田中美里・西岡佑莉)が、日本赤十字社徳島県支部

に7月以降の山城祭等での熊本地震義援金活動で集まった義援金もあわせ、一緒にお届けしました。(合計額 117,451円)

※2016(平成28)年4月から6月までに集まった熊本地震義援金 204,916円は、6月3日(金)に日本赤十字社徳島県支部にお届けしています。

### 〈企画した学生の感想〉

10月21日(金)に鳥取県中部地震が発生したことをニュースや地元にいる家族などから知りました。震源地では、通っていた学校が避難所になっていた、一部が使えない状態になっていたり、家の屋根が崩れているという状況でした。

そこで、鳥取県人会で何かできることはないかと話し合い、学生部に相談したところ、募金活動への協力をしてくださるということで、今回の募金活動が始まりました。

1週間という短い期間ではありましたが、たくさんの方に協力していただき、また温かい言葉もかけていただき、私たちの力となりました。皆さまのご協力で63,875円もの義援金を集めることができました。

鳥取県の復興のために協力していただけたこと、本当に感謝しています。ありがとうございました。

(心理学科3年 田中美里)



JR 徳島駅前での街頭義援金募金活動

地域  
貢献

## 初の赤のボランティアパスポート(中級編)修了者へ学長から修了証を授与!

人間生活学部児童学科2年:尾杉留王さん、稲生好恵さん

2016(平成28)年11月15日(火)11月定例会合同教授会において、初の赤のボランティアパスポート(中級編)を修了した2人に桐野学長より修了証が授与されました。

その模様は、テレビ会議で徳島キャンパスおよび香川キャンパスの教職員に配信され、学業・クラブ活動等と両立させ緑のボランティアパスポート(基礎編)を修了し、その後40時間の地域ボランティア活動が必要な赤のボランティアパスポート(中級編)を修了した2人に対して大きな拍手が送られました。

2人は、さらに知事表彰の対象となる青のボランティアパスポート(上級編)修了に向け、積極的に地域ボランティア活動に取り組んでいます。



赤のボランティアパスポート修了証を手に桐野学長と一緒に  
(左から児童学科2年 稲生好恵さん、尾杉留王さん、桐野学長)

### 〈学生の感想〉

私の出身高校は、「社会に貢献できる人」をモットーに、ボランティア活動に積極的な学校でした。普段から社会貢献活動への意識をもち、町内の清掃活動や徳島駅前などで募金活動などを行っていました。

徳島文理大学に入学し、2年生の時にボランティアパスポート制度を知り、ボランティア活動を再び始めました。マチアソビのスタッフやさまざまなイベント、最近では防災訓練のボランティアにも参加しました。活動を行う度にイベントの参加者や主催者の皆さんに感謝され、お礼を言われることでとても温かい気持ちになり、ボランティアをする大切さにあらためて気づかされました。今回の学長修了証をいただくにあたり、80時間以上のボランティアに従事しましたが、このような経験を通じてボランティア活動の輪がどんどん広がってほしいなと思いました。

私は幼稚園の先生をめざしていますが、子どもたちにもしっかり働きかけ、ボランティアをする楽しさ・人から感謝されることがどんなに素晴らしいことかを伝えられる先生になりたいと思います。

(児童学科2年 尾杉留王)

留学  
体験

## 「トビタテ! 留学 JAPAN」に参加して

人間生活学部児童学科4年 増原萌子

今回「トビタテ! 留学 JAPAN」の支援を受けて、ニュージーランド・クライストチャーチに9カ月間、留学に行ってきました。高校時代は国際科だったこともあり、語学・留学にはとても興味がありました。ただ、経済的な面や進路等のこともあり、なかなか留学に一歩踏み出せずにいました。そんな時に、この返済不要の奨学金制度を知り、留学することができました。

留学中は、インターンシップやボランティア活動に参加したり、現地の小学校で子どもたちと触れ合い、一緒に勉強することができました。また、日本の学校との違い、文化などを身をもって体験することができました。もちろん、楽しいことばかりではなく辛いこともたくさんありまし

たが、留学で得た全ての経験が私にとっての宝物です。

私は今回の留学経験をいかして、グローバル人材の育成に貢献できる小学校の先生になりたいと思っています。

少しでも留学に興味のある皆さん、ぜひ学生のうちに挑戦しましょう!



ニュージーランド・クライストチャーチの小学生との交流の様子







徳島キャンパス・香川キャンパスで開催されたイルミネーション点灯式の様子



イベント 第11回 イルミネーション点灯式 開催！

地元の冬の風物詩として定着しつつあるイルミネーション点灯式が、徳島キャンパスでは2016（平成28）年12月2日（金）、香川キャンパスでは2016（平成28）年12月5日（月）に開催されました。

徳島キャンパスでは、村崎理事長、桐野学長、英語暗唱コンテストで優秀賞を受賞した保育科2年の仲根百合さんがスイッチを押すと、35万球のLEDが一斉に点灯し、見ている人たちから歓声があがりました。点灯後は、毎年恒例となっている音楽学部の学生たちによるミニ

コンサート、ダンス部によるダンスパフォーマンスが観衆を魅了しました。点灯式終了後は、児童学科の学生から子どもたちにバルーンアートのプレゼントがあり、訪れた皆さんと楽しい時間を過ごしていました。

香川キャンパスでは、初めに志度中学校吹奏楽部の皆さんによる演奏、そしてゴスペルサークルによる演奏の後、桐野学長、杏樹祭実行委員長の臨床工学科2年坂本 匠さんがスイッチを押すと7万5000球のLEDが点灯しました。点

灯後は、ダンス部によるダンスパフォーマンス、Bunriハンドベルクワイアによるハンドベルコンサートがあり、最後はLEDに彩られた理工学部製作の電気自動車が登場し、そこに乗っていた学生サンタからプレゼントが配られ、イベントは大いに盛り上がりました。

このイルミネーションは、毎日17～21時まで点灯しており、2017（平成29）年2月14日（木）までご覧いただけます。ぜひ幻想的な雰囲気を感じ、キャンパスへお越しください。



浜田香川県知事らとの記念写真



最優秀賞を受賞した香川薬学部・理工学部の学生

香川薬学部 香川薬学部と理工学部の合同チーム「Science Women」が最優秀賞を受賞

香川県内の大学や短大、高等専門学校的女子学生が、自身の手本となる県内で活躍する女性にインタビューし、動画を作成する「女子学生による私の未来発見事業」の発表・審査会が、2016（平成28）年11月23日（水）、サンポート高松で開催されました。その結果、本学の香川薬学部と理工学部ナノ物質工学科の合同チーム「Science Women」が、最優秀賞の栄誉に輝きました。

撮影対象者は、本学の卒業生で2016（平成28）年に日本人初の「ロレアル・

ユネスコ女性科学賞 - 国際新人賞」を受賞された向井理紗さん（現在、米国ニュージャーシー医科大学留学中）です。チームリーダーの香川薬学部3年丸岡優さんは「最優秀賞はまさかという気持ちです。日本を代表する女性科学者である向井さんの素顔を知りたいと思い、取材させていただきました。向井さんは自分の気持ちを大切にして努力すれば、周りが認めてくれて結果がついてくることを私たちに教えてくださり、とても貴重な経験になりました」と語っていました。



山城祭を終えて（徳島キャンパス）

2016（平成28）年の山城祭テーマは、「煌～人生で最高に輝くときを～」でした。

実行委員一丸となり、山城祭に関わってくださったすべての方々とともに、人生で最も記憶に残る学園祭にしていこうと取り組みました。

毎年恒例のビンゴ大会・展示・模擬店はもちろんのこと、「吉本芸人お笑いライブ」では2015（平成27）年よりも多くの方にお越しいただき、大変な盛り上がりとなりました。

最終日の野外ステージでは終盤に雨が降ってきましたが、エイサー団体「ニライカナイ」の熱いパフォーマンスが雨を吹き飛ばし、後夜祭のバルーンリリースまで無事終了することができました。

暑い夏場での準備や、開催期間中の困ったこと・楽しかったことを思い出し、改めてたくさんの方々に支えられて成り立っていることを実感いたしました。皆さま本当にありがとうございました。

2017（平成29）年も、山城祭実行委員一同がんばりますので、よろしくお願いいたします。



杏樹祭を終えて（香川キャンパス）

第31回杏樹祭は「比翼～みんなの意思をひとつにして～」をテーマに、2016（平成28）年10月15日（土）から16日（日）の2日間行われました。

私は杏樹祭実行委員会の委員長を任せられ、たくさんの経験をさせていただくことができました。企業の方や地域の方とお会いする機会も多く、言葉遣いや責任をもつことの大切さを学ぶことができました。企画では、たくさんのお客さんに来ていただくには何をすべきなのか、実行委員会のメンバーと話し合い充実した時間を過ごすことができました。

地域の方々や学生部の皆さん、杏樹祭実行委員会のメンバーや先輩方の支えがあったからこそ、多くの方に来ていただけたと思います。2017（平成29）年は先輩として後輩たちに引き継いでいきたいと思っています。

（保健福祉学部臨床工学科2年 坂本 匠）





## 先輩からの手紙 —就職内定者—



**就職内定** 大きな分岐点

人間生活学部心理学科 4年  
前野 式子  
百十四銀行 内定

私は就職活動が本格化する前から業種を絞っていたわけではないので、徳島や香川の合同企業説明会はもちろんのこと、大阪や東京にまで足を運んでいました。田舎では味わうことのない都会ならではの刺激をたくさん受けました。そのお陰で合同企業説明会に参加するほど、地域に貢献したいという気持ちが大きくなり地元に残る決心をしました。

また就職試験を受けるうえでかせない筆記試験では参考書の問題を繰り返し解き、問題を覚えるほど勉強しました。

最後に、就職活動は本当に事前準備が大切だと感じました。合同企業説明会が始まる前に業界研究や自己分析は欠かせないものです。しっかり準備しておくことと焦ることもなく、前向きに就職活動を行えるはず。「就職」という大きな分岐点で後悔することなく、皆さんの希望する仕事に就けるようがんばってください。



**就職内定** 自分が後悔しないために

総合政策学部総合政策学科 4年  
佐藤 理沙  
徳島県庁 内定

公務員試験で内定をもらうためには、何より一次試験を突破しなければなりません。そのため人生で一番といっても過言ではないくらい勉強をしました。就職活動はがんばったからといって結果が出ないことのほうが多いです。その中でまず自分ができるとは、ひたすら勉強することでした。勉強の毎日は辛い日々でしたが、その時は同じ目標を持った友人と支え合い、応援してくれる周囲の人たちのことを考えながら、就職活動を乗り切りました。

就職活動で迷ったときは「後悔しないこと」を一番に考えました。仕事は自分の人生を大きく決めるため、自分が納得のいく就職活動を行ってください。最後まで諦めず、自分のすべきことを一生懸命すれば結果はついてくると信じています。



**就職内定** 一人で抱えこまず周囲の人に相談を

保健福祉学部臨床工学科 4年  
俵野 夏奈  
香川県立中央病院 内定

3年生が終わりに近づいたころ、私は学力に不安があったため当初は大きな病院ではなく透析クリニックを希望していました。臨床実習中に念願だった県内の病院の求人が出ましたが、しかしそこは大きな総合病院だったため私はためらいました。

そこで私は受験に関して自身が抱えている不安や悩みを先生に相談することで迷いがなくなり、受験する決心が固まりました。その後は履歴書の添削や面接練習などを就職支援部の方に協力してもらい、無事に内定をいただきました。就職活動は、一人で抱え込んでいるといろんなチャンスを逃し続けると思います。先生方に自分がどうしたいのか、どう悩んでいるのかを相談すると親身になってアドバイスをしてくれるので、迷ったときは相談することが大切だと思います。



**就職内定** やらなきゃ、何も始まらない!

理工学部ナノ物質工学科 4年  
阿部 稔弘  
株式会社ザバック 内定

私が就職活動をおして経験したことを3つお伝えしたいと思います。

- ☆1 自分がどういう人間なのかをよく見つめなおすこと。  
就職活動では何度も自分自身がどういう人間なのか聞かれるので、長所・短所などを見つめなおしてください。これが十分にできないと面接で苦労します。
- ☆2 やりたい仕事が決まっていなくても焦らない。  
企業研究をしっかりとすることでだんだんと興味が湧き始め、業界が絞れてきます。その後はとりあえず、たくさんエントリーしてチャンスを逃さないことが大切です。
- ☆3 気負いすることなくエントリーしよう。  
国立・有名私立の学生たちと勝負をするわけですから初めはとてめ気負いしていましたが、実際はその人個人の能力次第で企業は内定をくださるので皆さんも挑戦してみてください。  
最後に就職活動はお金もかかるし、思うような結果が得られず大変ですが、絶対に妥協しないでください。やるかやらないかは皆さん次第です。積極的に行動するほどチャンスをつかめると信じています。

## 先輩からの手紙 —教員・保育士採用試験合格者—



**保育士採用** 常に学ぶ姿勢をもって

人間生活学部児童学科 4年  
高瀬 加奈  
徳島市保育士 合格

皆さんに伝えたいことが2点あります。1点目は、「常に学ぶ姿勢をもっておく」ということを心がけておいてほしいということです。常に学ぶ姿勢をもっておくことで、さまざまな場からさまざまなことを吸収でき、自分自身を成長させ続けてくれると思うからです。

2点目は、徳島文理大学の児童学科に関わってくださる先生方は素晴らしい方しかいないということです。保育士採用試験を受けるうえで、一次試験が受ければ避けて通れないのが二次試験です。二次試験では面接や集団討論、絵画、ピアノ、論文、模擬保育などさまざまな試験内容があります。私は試験前には毎日さまざまな先生の所へ行き、二次試験対策をしていただきました。どの先生も親身になって相談に乗ってくださり、的確なアドバイスをいただきました。皆さんも素晴らしい先生方にたくさん相談して合格を勝ち取ってください。また、同じ夢をもつ仲間たちと刺激し合いながら夢をつかみ取ってください。



**教員採用** 自信が夢につながる

人間生活学部児童学科 4年  
森山 万莉菜  
徳島県小学校教諭 合格

私は、幼いころから小学校教諭になるのが夢でした。その夢を実現するために一番大切なことは、夢をあきらめない気持ちだと思います。私は、「自分が教師になったら」という想像を常々することでモチベーションを保ってきました。また、日ごろからさまざまな経験をすることも大切です。それは採用試験の面接、ひいては将来教師になったときにもいかされるはずだからです。

日々の講義を大切に、時事問題などについて自分なりの考えをもつようにすることによって自ずと自信はついてきます。あとは、夢をあきらめない気持ちをもってれば、きっとその夢はかないます。そのための努力は怠らず、友人たちと支えあって夢に向かってがんばってください。



**教員採用** 全ての経験を味方に突破した教員採用試験

人間生活学部人間生活学科 4年  
成谷 咲菜  
愛媛県養護教諭 合格

私は教員採用試験の勉強を通じて、人間的にも大きく成長できたのではないかと思います。筆記の勉強をすることはもちろんですが、何より人との繋がりが大切でした。学習支援ボランティアで小学校に行っていたことも「子どもたちの笑顔を養護教諭として守っていきいたい」と思うきっかけとなりました。

勉強をする上ではスランプになることも多々ありましたが、周りを見渡せば多くの仲間が勉強をがんばっています。頼れる先生方もいらっしゃいます。さまざまな経験をして手に入れた合格はかけがえのないものになりました。強い思いをもって日々努力すれば誰も夢をかなえられると思います。大学4年間は勉強に遊びに時間をフル活用して、目標に向かってがんばってください。



**教員採用** 後輩の皆さんへ—自分との戦い—

理工学部電子情報工学科 4年  
土居 功太郎  
兵庫県高等学校(工業)教諭 合格

私は小さいころから教員になるのが夢でした。人に何かを教えることに関心があり、教師は勉強以外にもさまざまなことを教える仕事なので、ずっと目標にできました。

大学では教員免許を取得するために、日々の授業を大切にしてきましたが、一つひとつの科目の内容が深く、理解するのが大変でした。そんな時、先生方や教職をめざす仲間たちからたくさんの支えの言葉やアドバイスをもらうことができました。この先生方や仲間たちの支えが大きかったと思います。

どんな職業に就くにしても、実現するまでは自分との戦いだと思っています。向いていると思った仕事をしっかりと見極め、そして多くの人たちとのつながりを大切に、就職活動をがんばってください。



地域貢献

和太鼓部「億」が、2016（平成28）年度「とくしまボランティア賞」徳島県知事表彰を受賞！

徳島キャンパスの和太鼓部「億」が、2016（平成28）年度「とくしまボランティア賞」徳島県知事表彰を受け、2016（平成28）年11月29日（火）徳島県庁において表彰式があり、飯泉徳島県知事より賞を授与されました。

部長の宮地 栞さん（保健福祉学部理学療法学科3年）と副部長の穂崎琴子さん（人間生活学部人間生活学科3年）の2人が代表で受賞式に出席し、その後、部員と飯泉徳島県知事を囲んで写真撮影を行いました。

本年度、和太鼓部「億」は、2016（平成28）年7月の四国インカレ社行会においてパワフルなオープニング演奏を行い、地域のさまざまなボランティア活動にも積極的に参加し、山城祭においては

観衆を引き込む完成度の高い圧倒的な演奏パフォーマンスを披露しました。まさに「音を人の心に伝える」「億」の名前どおりの心に響く活動が今回の受賞につながりました。

私たち和太鼓部「億」は、徳島文理大学地域連携センター実施のイベントや老人福祉施設への慰問、各地域のイベントに出かけ、より多くの方に演奏を聴いてもらえるよう日々活動しております。

活動を始めて15年目にあたる年に「とくしまボランティア賞」をいただいたことを非常に嬉しく思うと同時に、改めて今回受賞できたのは自分たちだけではな

く、大学の先生方をはじめ周りの皆さまの支え、そしてこれまで和太鼓部に所属されていた先輩方が懸命に活動に取り組んでくれたおかげだと感じております。伝統ある和太鼓部「億」をより発展させるよう部員一同尽力してまいりますので、これからも応援をよろしくお願いいたします。

（理学療法学科3年 宮地 栞）



飯泉徳島県知事から表彰を受ける和太鼓部「億」のメンバー

学生活動

2016 オープンキャンパス活動報告

徳島キャンパス オープンキャンパス学生スタッフリーダー 石田咲美

私たちオープンキャンパス学生スタッフは、オープンキャンパス当日に学内の案内をしたり、高校生や保護者の方が楽しめるようなイベントを考えたりと、皆で盛り上げています。

2016（平成28）年のオープンキャンパスには徳島キャンパス・香川キャンパス合わせて延べ4,459人の高校生、保護者の方にお越しいただきました。私たちが使用した教科書を展示して、自由に手に取って見ていただけるコーナーを設置したり、

自分の学科を学生目線で紹介するポスターを製作したりしました。お越しいただいた皆さんから「大学の雰囲気が良い」、「みんな仲良しで楽しそう」、「大学のいいところをたくさん知ることができて良かった」と言ってもらえるオープンキャンパスを実施することができました。

オープンキャンパス学生スタッフは、さまざまな学科の学生がいるので友だちの輪が広がり、みんなで協力してオープンキャンパスを成功させた時はとても達



高校生に学内の案内をする学生スタッフ

成感があります。そして、なにより高校生と触れ合うことで元気が出ます。

オープンキャンパスを盛り上げ高校生と関わりたい学生の皆さん、私たちと一緒に学生スタッフをやりませんか。興味のある方は入試広報部まで来てください。

クラブ・サークル 大会結果（徳島キャンパス）

○準硬式野球部  
・文部科学大臣杯 第68回全日本大学準硬式野球選手権大会／出場  
・2016 秋季大会／準優勝

○弓道部  
・第23回県下大学弓道大会  
個人入賞／3位  
児童学科2年 徳永雅士

○剣道部  
・眉山杯

個人2位／優秀選手賞  
保育科1年 竹原桃香  
個人3位／優秀選手賞  
心理学科1年 黒田木乃佳  
個人3位  
児童学科3年 阿部美月

○男子バレーボール部  
・平成28年度 徳島県バレーボール秋季大会／準優勝  
・第29回徳島県クラブバレーボール連盟会長杯争奪バレーボール

大会／2位  
敢闘賞  
総合政策学科4年 尾形佳祐

○フットサル部  
・アイテムカップ2016 香川大会／優勝

○バドミントン部  
・第62回徳島県バドミントン競技総合選手権大会  
男子団体2部／準優勝

混合複2部／優勝  
男子単2部／3位  
女子単2部／3位  
男子複2部／3位

○空手同好会  
・第43回全日本古流剛柔空手道選手権大会植村杯  
一般有級の部／優勝  
総合政策学科2年 寺内一朗

クラブ・サークル受賞者・受賞団体の声

準硬式野球部

準硬式野球部は、3年連続春のリーグ戦で優勝し、「文部科学大臣杯 全日本大学準硬式野球選手権大会」へ出場を果たすも、これまでは初戦敗退という悔しい結果でした。

徳島キャンパス

しかし2016（平成28）年は、1回戦 東北代表 岩手大学に3対7で勝利し、2回戦 北信越代表 金沢大学戦まで進むことができ、初めて1回戦を突破することができました。

支援をしてくださっている家族・先輩、また学生部の方々へ一人ひとりが感謝の気持ちを忘れることなく、これからも全国大会の連続出場記録を伸ばし、ますます好成績を残すことをめざします。限られた時間と場所での練習ではありますが、チームが団結し、常に試合を意識した質の高い練習を行っていきたいと思います。これからもどうか応援をよろしくお願いいたします。

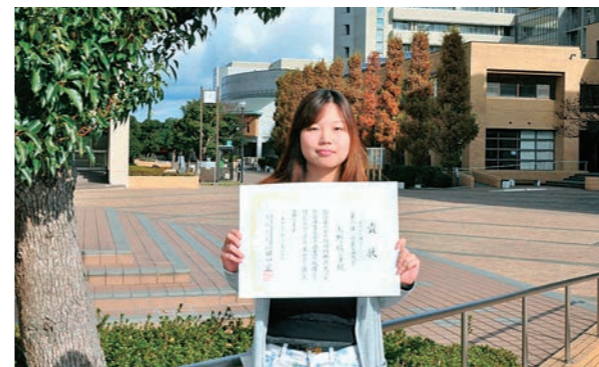


水泳部

香川キャンパス

私は4歳から水泳を始めました。水泳は喘息に良いというのがきっかけでした。小学校3年生の時、コーチの誘いで選手コースに入り本格的に練習するようになりました。大会に参加し始めたころは随分と緊張しましたが次第に慣れ、さらに入賞するようになると泳ぐことが楽しくなりました。高校を卒業し1年間は練習のみで大会には出場していませんでした。しかし、大学2年生になりもう一度大会に出たいと思い、練習を重ね四国インカレに出場したところ入賞することができました。努力が報われ、とてもうれしかったです。

大学の授業は大変で、中・高のときのように練習はできませんが、自己ベストを出し、中・四国地区の大会で入賞することを目標にがんばっています。（香川薬学部2年 矢野紋音）



剣道部

徳島キャンパス

剣道部は、月・水・金・土曜日の週4回、体育館1階にある剣道場で練習を行っています。第35回徳島県大学剣道選手権大会に参加し、個人2位（竹原）、個人3位（黒田、阿部）の成績を収めました。

また、黒田木乃佳（人間生活学部心理学科1年）、竹原桃香（短期大学部保育科1年）2人に優秀選手賞をいただきました。

2017（平成29）年は、1位をめざして一人ひとりが日々精進し練習に取り組み、中・四国剣道大会でも良い結果が残せるように練習に取り組みたいと思います。これからも応援よろしくお願ひします。現在、部員を募集しています。私たちと一緒に剣道を楽しみませんか？ 未経験者も大歓迎です！ ぜひ一度剣道場に足を運んでみてください。



クラブ・サークル紹介

ダンスサークル紹介

香川キャンパス

私たちダンスサークルは、4年前までは10人に満たない小さなサークルでした。そのため、文化祭でしかダンスを披露する機会がありませんでした。しかし、現在は部員も30人ほどに増え、オープンキャンパスやイルミネーションの点灯式でもダンスを披露するようになりました。専門の先生もいませんし、

ダンス経験者も数人ですが、私たちのパフォーマンスを見てくれる人たちの声援を励みに、毎日情熱をもって練習に励んでいます。

運動量が多く練習は厳しいですが、全員が息を合わせてパフォーマンスをしたときの達成感は何とも言えません。これからもダンスをとおして多くの人を感動させたいと思います。







# 理工学部電子情報工学科

【連載】研究室への誘い

- 理工学部電子情報工学科 教授 山本由和
- 理工学部電子情報工学科 3年 安岡瑞記
- 理工学部電子情報工学科 3年 陶山瑞樹

## ●山本先生にお聞きします。電子情報工学科の学びのポイントを教えてください。

電子情報工学科は、世界的な社会経済構造の変化の原動力である情報通信技術 (ICT) およびエレクトロニクス分野で活躍する人材を育成する学科です。時代の変化への対応力が養われるよう基礎をしっかり身につけさせるとともに、実験・演習を重視したカリキュラム体系を整備し、資格取得や体験学習、インターンシップといった実務教育にも力を入れています。ICTの国家資格である情報処理技術者試験の講座を設けて取得を支援し、またデータ解析コンペティションやNHK大学ロボコンなど学外でのコンテストにも積極的に参加しています。卒業生の多くはICTおよびエレクトロニクス関連の仕事に就いています。

## ●電子情報工学科にはどんな研究室(各研究室の研究テーマなど)がありますか？

多田哲生 研究室 (理工学部長)

- ・LSI (大規模集積回路) のテスト・信頼性の研究
- ・3D構造を有したLSIの故障モデル、故障診断方法
- ・半導体の試験技術ロードマップの検討

妹尾尚一郎 研究室 (学科長)

- ・通信ネットワークのプロトコルとシミュレーション
- ・動的な需要変動に対応した光通信ネットワーク制御
- ・IoT (Internet of Things) 向けセンサネットワーク

河合浩行 研究室

- ・「Attentive (気配りの利く) システム」の実現に向けたシステム制御技術

- ・ノーマリーオフ型センサネットワーク
- ・ディペンダブル (耐故障) 技術
- ・リコンフィギャラブル技術
- ・リアルタイム制御技術

中山裕之 研究室

- ・画像を処理・加工し人間に有用な情報を提供する技術
- ・画像情報を離れた場所に伝送する技術

藤村哲也 研究室

- ・歯列の変化に伴う顎運動の時系列解析
- ・顎運動計測技術に基づく歯科診療支援システムの開発
- ・親子関係における顎運動解析
- ・歯牙の微小変位解析

山本由和 研究室

- ・機械学習技術を利用したデータ解析
- ・情報可視化ソフトウェアの開発
- ・ビッグデータの並列分散処理ソフトウェアの開発

小林郁典 研究室

- ・防災情報の電子化
- ・知識工学などの高度情報処理技術を活用したデータ解析手法とそのシステム開発

森本滋郎 研究室

- ・適応アルゴリズムの開発
- ・コンテナ積載車両の重心高さの推定
- ・生産スケジューリングシステムの開発

## ●学生さんたちの雰囲気はいかがですか？ なかでも、このコーナーで取材する学生さんは、どのように取り組まれていますか？

全体的におとなしい学生が多いですが、非常にまじめです。その中でも、東京で開催されるシンポジウムや研究会で発表する学生もいます。取材する学生はデータ解析を行っています。

安岡さんはスポーツデータの解析、陶山さんは経済データの解析です。それぞれ、日本統計学会のスポーツ統計分科会が主催するスポーツデータ解析コンペティションと、経営科学系研究部会連合協議会が主催するデータ解析コンペティションに参加しています。

安岡さんは、2016 (平成28) 年12月18日 (日) に大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 統計数理研究所 (東京都立川市) で行われたコンペティションでプレゼンテーションを行いました。内容は、NPB (Nippon Professional Baseball Organization; 日本野球機構) レギュラーシーズン2シーズン (2014 (平成26) 年、2015 (平成27) 年) 全1,722試合の一球データから先発投手の勝敗分析を行いました。このために、データベースを使った集計、統計解析向けのプログラミング言語であるRを使った対応分析と可視化を行いました。

陶山さんは、2016 (平成28) 年12月18日 (日) に同じく統計数理研究所で行われた中間報告会でプレゼンテーションを行いました。内容は、日本最大手のファッション系インターネットショッピングサイトの購買履歴とアンケートデータの分析です。このために、データベースを使った集計、Rを使ったクラスタリングと対応分析と可視化を行いました。3月の最終報告会に向けて、解析結果をまとめる作業を行います。

## ●続いて安岡さん、陶山さんにお聞きします。現在所属している研究室(ゼミ)を選んだきっかけ、理由を教えてください。

安岡：授業だけでなく授業以外でも山本先生と関わる機会が多かったため、山本研究

室を選びました。

陶山：私は1年生のころに「大学の授業だけでなく授業外での活動が4年次の就職活動でいかされる」と考え、理工学部が実施している体験教育支援センターの取り組みに参加しました。その活動の中で、山本先生が専門としているデータ分析をすることになり、そこから研究内容に興味をもち、山本研究室を選びました。

## ●現在の研究内容を教えてください。

安岡：スポーツデータ解析コンペティションのために、研究室のメンバーと一緒にスポーツデータの解析を行っています。今回は、野球部門、野球トラッキング部門、サッカー部門、ラグビー部門の中から野球部門に参加し、「先発投手の勝敗分析」を行いました。試合開始から3回までの一球ごとのデータから、先発投手の勝敗に影響が強い要因を探しました。このために、提供されたデータの加工や集計を行い、対応分析の計算とその結果を可視化するためのbiplotを表示するプログラムを作成しました。膨大なデータの中から意味のある結果を探し出すのは大変な作業でした。データの加工や集計を工夫して、対応分析を行い、biplotを描きました。その結果に興味があるのかどうかをさまざまな統計量と表示結果から判断しました。

陶山：データ解析コンペティションには、1年生の時から参加しています。今年度は、ファッション系インターネットショッピングサイトの購買データとアンケートデータの解析を行っています。2016 (平成28) 年12月18日 (日) に統計数理研究所で行われた中間報告会で途中経過を発表してきました。2017 (平成29) 年3月初めには最終報告会があるので、それに向けて、さらに分析を進めます。人工知能に関する技術であるクラスタ分析によって、購買データやアンケート結果から顧客のグループ分けを行い、グループごとの特徴を対応分析

によって示しました。分析には、MySQLとRというソフトウェアを使って分析をしているのですが、授業では習っていないこともあるので、自分でも調べながらデータ分析を進めています。

## ●それぞれのコンペティションに参加してみてどうでしたか？

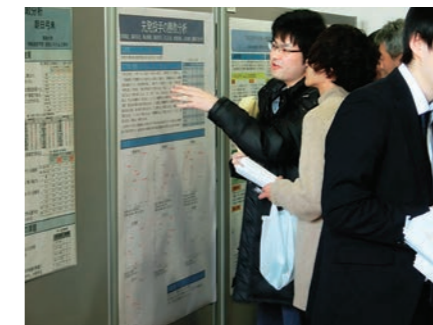
安岡：2016 (平成28) 年12月18日 (日) のコンペティションでは、ポスター発表を行いました。ポスター発表の前にこの内容を1分間で説明しました。200人以上の前での発表はとても緊張しました。ポスター発表では、たくさんの方が今回の分析に興味をもってくださり、質問をしてくださりました。大学院生と4年生の参加者が多かったのですが、審査員の方からお褒めの言葉をいただいたので、参加できて良かったと思っています。今回のコンペティションに参加したことで、他大学の皆さんと交流する機会ももて、またどのような研究をしているかを知ることができたので、私自身ももっとがんばろうと思いました。

陶山：中間報告会には、さまざまな大学からの参加者がおり、そのほとんどは大学院生でした。学外での初めての発表だったこともありとても緊張しました。他大学の皆さんは発表が上手で、また自分では思いつかなかったような分析をしていたので、とてもよい刺激を受けました。

## ●これからの目標、将来の夢を教えてください。

安岡：現在は、地元のIT系の企業での就職を考えています。この研究室で学んだことをいかして、地元で貢献していきたいです。

陶山：まだ明確に定まってはいませんが、就職と進学の両方を視野に入れて勉強をしたいと思っています。このゼミで学んだことを最大限にいかした進路につきたいと思っています。



ポスター発表で来場者に説明をする安岡さん



中間報告をする陶山さん



まだ間にあう!

# 徳島文理大学・徳島文理大学 短期大学部 特待生試験に挑戦しよう!!

これから受験できる入試も要チェック!!

## ◎ AO入試

期	エントリー期間	面談実施期間	面談結果通知日	出願締切日	合格発表日
大学	受付中～2月25日(土) <b>必着</b> インターネットでのエントリーの締切は 2月25日(土) 24時	3月8日(水) までに実施	3月11日(土) までに合意・ 不都合を通知	3月14日(火) <b>必着</b> インターネット出願の 締切は24時まで	3月22日(水) までに随時発表
短大	体験型 受付中～3月15日(水) <b>必着</b> インターネットでのエントリーの締切は 3月15日(水) 24時 (自己アピール型のみ)	相談の上決定	最終面談終了後 10日程度で通知	【郵送】 結果通知を受け取った後、10日以内に出願 【ネット】 本学が合意通知を発送した日から14日後	出願後 10日以内に通知
	課題提出型 受付中～3月1日(水) <b>必着</b> インターネットでのエントリーの締切は 3月1日(水) 24時				

(注) 食物栄養学科・看護学科はエントリーを締め切りました。

## ◎ 一般入試

期	出願期間	試験日	合格発表日	学費等入学手続締切日
I期	<b>受付終了</b>	平成29年 [A日程] 1月30日(月) [B日程] 1月31日(火)	平成29年 2月13日(月)	平成29年 2月20日(月) <b>消印有効</b>
II期	A日程 受付中～2月10日(金) <b>消印有効</b> インターネット出願の締切は2月13日(月) 24時	平成29年 2月19日(日)	平成29年 2月25日(土)	平成29年 3月7日(火) <b>消印有効</b>
	B日程 平成29年2月10日(金)～2月27日(月) <b>消印有効</b> インターネット出願の締切は2月28日(火) 24時	平成29年 3月7日(火)	平成29年 3月14日(火)	平成29年 3月17日(金) <b>必着</b>
III期	A日程 平成29年3月3日(金)～3月10日(金) <b>消印有効</b> インターネット出願の締切は3月15日(水) 24時	平成29年 3月21日(火)	平成29年 3月23日(木)	平成29年 3月24日(金) <b>必着</b>

(注) ①音楽学部のII期A日程試験はありません。  
②薬学部・香川薬学部の特待生選考試験の対象となるのはI期A日程です。  
③学園創立120周年記念特待生選考試験の対象となるのはI期A日程です。  
④III期A日程は音楽学部・短期大学部音楽科のみの入試です。

## ◎ 大学入試センター試験利用入試

期	出願期間	試験日	合格発表日	学費等入学手続締切日
I期	受付中～1月30日(月) <b>消印有効</b> インターネット出願の締切は1月30日(月) 24時	大学入試 センター試験	平成29年 2月13日(月)	平成29年 2月20日(月) <b>消印有効</b>
II期	平成29年2月10日(金)～3月3日(金) <b>消印有効</b> インターネット出願の締切は3月3日(金) 24時		平成29年 3月14日(火)	平成29年 3月17日(金) <b>必着</b>
III期	平成29年3月3日(金)～3月10日(金) <b>消印有効</b> インターネット出願の締切は3月10日(金) 24時		平成29年 3月23日(木)	平成29年 3月24日(金) <b>必着</b>

受験科目や試験地等の詳しい内容については、入学試験要項をご覧ください。

## ◎ 学園創立120周年記念 徳島文理大学特待生制度

学力優秀でかつ経済的要件を満たす入学者に対して、経済的な支援を行います。(薬学部・香川薬学部・音楽学部・短大音楽科以外の全学科)

種類	対象学部	選考人数	金額	選考方法
給付制	人間生活学部 保健福祉学部 総合政策学部 文学部・理工学部 短期大学部(音楽科除く)	最大100名 (大学・短大合わせて)	大学4年間で100万円 短大2年間で50万円	・一般入試I期A日程受験者で学科が定める成績基準を満たす者 ※AO入試・指定校制推薦入試・公募制推薦入試などの入学手続き完了者で特待生制度を希望する方は、入学検定料不要で一般入試I期A日程入試を受験できません。 ・主たる家計支持者の年間所得額が基準以内の者(給与所得者:841万円以内、給与所得者以外:355万円以内)

## ◎ 薬学部・香川薬学部 特待生制度

成績優秀者を特待生として、国立大学薬学部の入学金・学費とほぼ同額に減免する制度です。

種類	対象学部	選考人数	選考方法	減免後の金額
学費減免	薬学部	成績上位5名	一般入試I期A日程を受験した者のうち、 成績上位の者	・1年次:815,800円(入学金+学費) ・2年次以降:535,800円 6年間:合計3,494,800円
	香川薬学部	成績上位3名		

## ◎ 薬学部・香川薬学部 地域貢献特待生制度

対象となる地域の成績優秀者を特待生として、国立大学薬学部の入学金・学費とほぼ同額に減免する制度です。

種類	対象学部	募集人数	対象となる地域	減免後の金額
学費減免	薬学部	20名	徳島県	・1年次:815,800円(入学金+学費) ・2年次以降:535,800円 6年間:合計3,494,800円
	香川薬学部	10名	香川県	

出願資格	選考方法
・学校長の推薦を得た者で、大学入試センター試験で指定科目を受験している者	受験年度の大学入試センター試験の点数(「英語」、「数学」、「理科」それぞれ200点、合計600点満点)が420点以上の者 ※試験科目…英語(リスニング含む)、数学(「数学I・数学A」、「数学II・数学B」)、理科2科目(化学・生物・物理)

	出願期間	面接日時	合格発表	学費等入学手続締切日
1次募集	平成29年2月7日(火)～ 2月16日(水) <b>必着</b>	平成29年2月22日(水) 13時から	平成29年3月1日(水)	平成29年3月7日(火) <b>消印有効</b>
2次募集	平成29年3月1日(水)～ 3月10日(金) <b>必着</b>	平成29年3月16日(水) 13時から	平成29年3月23日(木)	平成29年3月28日(火) <b>必着</b>

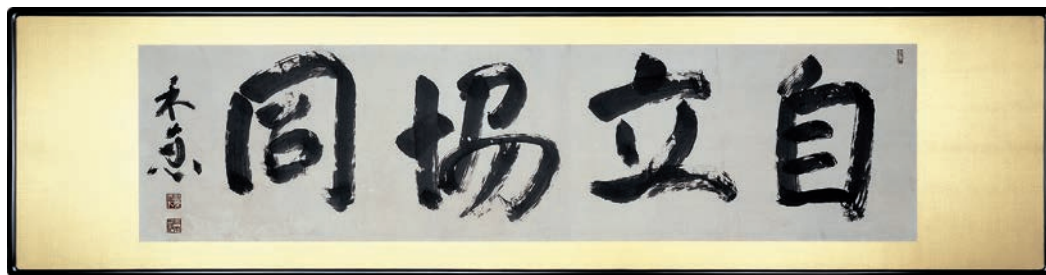
不明な点があれば、気軽にご相談ください。



徳島文理大学・徳島文理大学短期大学部 入試広報部  
徳島キャンパス 〒770-8514 徳島市山町西浜傍180  
香川キャンパス 〒769-2193 さぬき市志度1314-1

お問い合わせ先  
0120-60-2455  
http://www.bunri-u.ac.jp/





## 徳島文理大学の建学精神

「自立協同」の建学精神は、学祖村崎サイが1895年（明治28年）7月徳島に私立裁縫専修学校を設立した歴史に由来する。学祖は、「女も独り立ちが出来ねばならぬ」との信念を持ち「女性の自立」を唱えて村崎学園を創立した。1945年（昭和20年）7月、学園は戦火に包まれ灰燼に帰し、村崎サイも学園と運命を共にした。その年の秋、戦野から帰還した村崎凡人前理事長は、学園の復興に精魂を傾け、総合学園の建設をめざした。その過程で、「他からの協力、他への協力がなくして、『人間の自立』はあり得ない」との確信に至り、学祖村崎サイの精神を受け継ぎ、「村崎学園」の建学精神を「自立協同」としたものである。この建学精神の意味するところは、生育してゆく人間として、「自立」は重要な到達目的であり、「協同」は「自立」を具現化する方法、とするものである。「協同」は「力を合わせて物事をする」ことであり、個としての「自立」は、「協同」すなわち「他からの協力、他への協力」という体験の中で促される。「ヒト」はその体験を通して人間的な成長を遂げる。学園における教養的教育、専門的学術・芸術探求の教育は、まさに「人間の自立」を促す「協同」の場であらねばならない。爾来、本学はこのような学園の歴史に基づいた「自立協同」の建学精神のもと、教育を推進し、幼、小、中、高、大学、短大併せて9学部27学科、6大学院、3専攻科、そして、5研究所、1相談室を有する総合学園として発展してきた。今後とも建学の精神のもと、ますます精進し、学術・芸術の探究を通して未来を創造する大学でありたいと願っている。

### 徳島キャンパス（徳島県徳島市山城町）

- 大 学 院……薬学研究科(博士課程)／人間生活学研究科(博士課程)／看護学研究科(博士課程)／総合政策学研究科(修士課程)
- 専 攻 科……人間生活学専攻科(児童学専攻・人間生活学専攻)／助産学専攻科／音楽専攻科(器楽専攻・声楽専攻)
- 薬 学 部……薬学科
- 人間生活学部……食物栄養学科／児童学科／心理学科／メディアデザイン学科／建築デザイン学科／人間生活学科
- 保健福祉学部……口腔保健学科(2017年4月開設)／理学療法学科／看護学科／人間福祉学科
- 総合政策学部……総合政策学科
- 音 楽 学 部……音楽学科
- 短期大学部……商科／言語コミュニケーション学科／生活科学科／保育科／音楽科

### 香川キャンパス（香川県さぬき市志度）

- 大 学 院……薬学研究科(博士課程)／工学研究科(博士課程)／文学研究科(博士課程)
- 香川薬学部……薬学科
- 保健福祉学部……診療放射線学科／臨床工学科
- 理 工 学 部……ナノ物質工学科／機械創造工学科／電子情報工学科
- 文 学 部……文化財学科／日本文学科／英語英米文化学科

### 徳島文理大学ホームページ



<http://www.bunri-u.ac.jp>



**校章の由来** ……Acanthusとは、アカンサス属の一種、アカンサス・モルリスの葉で、別名ハアザミ。その刺は、事に当たって厳正、的確に処理する優れた知性を、その葉は古代ギリシャの美または芸術に通ずる豊かな情操を具象化し、本学の建学精神である「自立」を具現化した科学と芸術を示すものとして校章に制定されました。